

# 檜原村の小中一貫教育 概要版

平成23年度から檜原村の小・中学校が  
小中一貫教育校に変わります



檜原村立檜原小学校

檜原村立檜原中学校

小中一貫教育

檜原学園檜原小学校

檜原学園檜原中学校

平成23年度からの小中一貫教育の実施に伴い、檜原小学校と檜原中学校は、小中一貫教育校である檜原学園檜原小学校と檜原学園檜原中学校として新たにスタートします。このことにより、先生方が学校の違いを超えて義務教育9年間を通じてかかわることによって「檜原の宝」である子供たちの『生きる力』を育成します。

一貫教育を行う学校を一貫教育校といいます。檜原学園とはそのことを表す名称です。なお、檜原村では、小学校と中学校の校舎はそのままにして一貫教育を行います。

『生きる力』とは？

知・徳・体のバランスのとれた力のことです。

基礎的な知識・技能を習得し、それらを活用して、自ら考え、判断し、表現することにより、様々な問題に積極的に対応し、解決する力 = 知 =

自らを律しつつ、他人と共に協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性 = 徳 =

たくましく生きるための健康や体力など = 体 =

文部科学省リーフレットより

# 小中一貫教育がなぜ必要なのか？

子供たちの『生きる力』の育成は、檜原村の教育課題に対応しながら行います。そのために小中一貫教育が必要となります。なお、檜原村の教育課題には、我が国の普遍的教育課題と檜原村固有の教育課題とがあります。

## 我が国の普遍的教育課題に対応するために

子供たち一人一人の成長を支援します。  
個人差のある心身の発達に対応するため、小・中学校という校種の違いを超えて成長を支援します。  
より深い学びを充実させます。  
義務教育 9 年間を見通した連続性のある教科の指導を、校種を超えて行います。  
自立心や社会性をはぐくみます。  
小学生と中学生が共に活動する場を設定し、豊かな心情や望ましい人間関係を育てます。  
『中 1 ギャップ』をなくします。  
中学校に進学した際に環境の変化により生じるいわゆる『中 1 ギャップ』を解消します。  
『小 1 プロブレム』をなくします。  
幼稚園・保育園とも連携し、小学校に入学した際に生じるいわゆる『小 1 プロブレム』を解消します。

## 檜原村固有の教育課題に対応するために

子供たち全員に『確かな学力』を定着させます。  
義務教育 9 年間を通して、子供たち一人一人に視点を当てた教育を継続的・系統的に進め、子供たち全員に『確かな学力』を定着させます。  
『確かな学力』とは？  
(1)基礎的・基本的な知識及び技能、(2)課題解決のために必要な思考力、判断力、表現力、(3)主体的に学習に取り組む態度の 3 要素で構成される総合的な学力。  
(平成 20 年 3 月告示 学習指導要領より)  
授業時間数を有効活用します。  
義務教育 9 年間の各教科等の指導計画を継続性・系統性から見直し、限られた授業時間数を有効に活用します。  
自己判断能力を育成します。  
中学校を卒業後に新しい環境への対応に戸惑わないようにさせるため、義務教育 9 年間を通して子供たち一人一人の自己判断能力を育成します。  
教育相談を充実させます。  
子供たち一人一人の悩みを的確に把握し、義務教育 9 年間を通して同じ体制の下で指導や助言を行います。  
安全教育を充実させます。  
交通安全や不審者への対応、携帯電話やインターネットの弊害への対応など小・中学校が共通意識の下に連携し、安全指導を行います。  
健康指導を充実させます。  
小・中学校が連携して子供たちの体力の低下や健康上の課題を明らかにし、健康指導を行います。  
子供たちの人数の減少へ対応します。  
少人数だからこそできる教育活動や指導方法を小・中学校が連携して開発します。  
学校支援の負担を軽減します。  
小・中学校は、学校行事の合同あるいは同時開催し、保護者の負担を軽減します。

# 小中一貫教育で何を行うのか？

平成 23 年度から檜原村立小・中学校一貫教育基本計画第 1 期計画に基づき、小・中一貫教育校として具体的に 30 項目に及ぶ活動を行います。ここでは、特徴的な活動を紹介します。

## 活動1 檜原学園の教育目標の設定

『生きる力』を身に付けさせるための共通目標を設定し、それを受けて発達段階に合わせて小・中学校それぞれの学校目標を設定します。

## 活動3 檜原学園の生活時程の作成

小・中学校で生活時程を見直すことにより、各教科の授業によって小学校児童は中学校の教室で、中学校生徒が小学校の教室で授業を受けることが可能になります。また、小学校教員が中学校で、中学校教員が小学校で授業を行えるようになります。

## 活動5 檜原学園の指導計画の作成

義務教育 9 年間を見通した連続性のある指導を円滑に行うことや授業を効果的に行うために各教科等で指導計画を作成します。

期	一期（反復期）				二期（活用期）			三期（伸長期）	
学年 (現在)	1 (小1)	2 (小2)	3 (小3)	4 (小4)	5 (小5)	6 (小6)	7 (中1)	8 (中2)	9 (中3)
学習 段階	繰り返して習熟を図る				思考力・判断力・表現力を身に付ける			個性・能力を伸ばす	
指導 形態	学級担任制						専科制		

専科制については、T T 授業(複数の教員による授業)や合同学習も含む。

## 活動6 檜原学園の行事・諸活動の実施や交流

檜原学園の行事として可能な限り小・中学校の教育活動を合同（同日開催も含む）で行います。

## 活動10 檜原学園の学習支援

## 活動11 檜原学園の学習状況表の作成と活用

学習に遅れがちな児童・生徒のために、義務教育 9 年間を通し、一貫した体制で学習支援を行います。児童・生徒一人一人の学習について、つまづきを明確にし、学習状況表を作成することにより、きめ細かな指導を計画的・継続的に行います。

## 檜原村の小中一貫教育の特徴は？

### 1、校名に「檜原学園」や「檜原学園檜原小(中)学校」という名称を用います。

小学校と中学校が文書の作成や行事等を合同で行うときの校名には「檜原学園」、それぞれで行うときの校名には「檜原学園檜原小(中)学校」という名称を用います。なお、これらの名称は通称であり、正式名称は「檜原村立檜原小(中)学校」です。公文書の校名には正式名称を用います。

### 2、小(中)学校の先生が一人で中(小)学生を教えることも可能になります。

これまで、小学校と中学校の先生方が共同で授業を行うことがありましたが、小中一貫教育では、小(中)学校の先生が一人で中(小)学生を教えることも可能になります。

### 3、檜原村の小中一貫教育は広範囲で実施されます。

檜原村の小中一貫教育は、檜原村の教育課題に対応しながら行うので、学習指導のほかに、生活・安全指導、健康指導、教育相談等広範囲で実施されます。

## 小中一貫教育により期待できることは？

### 1、「子供たち一人一人の個性を生かす」「生きる力」を育成できます。

檜原村でも少子化が進行していますが、その反面、先生方は子供たち一人一人に見合った教育支援をきめ細かく行うことができます。義務教育 9 年間を通して、先生方がこの支援を引き継いでいけば「子供たち一人一人の個性を生かす」「生きる力」を育成することができます。

### 2、村ぐるみで子供たち一人一人を見守ることができます。

従来、小学校と中学校は各自で関係機関と連携していましたが、それを檜原学園と関係機関の連携にすることで、子供たちの育成についての学校と関係機関の共通意識がより一層拡大・強化されます。多方面での連携体制作りにつながり、村ぐるみで子供たち一人一人を見守ることができます。

### 3、檜原村を愛し誇りに思う子供たちの育成をより一層進めることができます。

檜原村の小中一貫教育は、檜原村の教育課題に対応しながら行われます。したがって、檜原村の小中一貫教育の実施は、檜原村という地域に根ざした教育の実施でもあります。この地域に根差した教育を義務教育 9 年間を通して行うことで、檜原村を愛し誇りに思う子供たちの育成をより一層進めることができます。

お問い合わせ

檜原村教育委員会 教育課 学校教育係

TEL 042-598-1011(代) FAX 042-598-1009

E-mail hinoharaxyou@bz03.plala.or.jp

URL <http://www.vill.hinohara.tokyo.jp>